

| コード | 名称 | 区分 | コード | 名称 |
|-------------|----------------------|-----------|-----------|-------------------|
| 事業名 | 462 乳幼児の育成指導事業 | 会計 | 01 | 一般会計 |
| | | 款 | 04 | 衛生費 |
| | | 項 | 01 | 保健衛生費 |
| 基本 施策 | 08 子どもを産み育てやすい環境をつくる | 目 | 01 | 保健衛生総務費 |
| | | 細目 | 241 | 母子保健事業 |
| 行革大綱の重点事項番号 | | 細々目 | 02 | 乳幼児の育成指導事業 |
| 担当部課 | コード | 753000 | 担当者 氏名 | 牧ノ矢 香 |
| | 名称 | 青山支所住民福祉課 | 連絡先 | 52 - 2280 (内線) |

事務事業の概要(Plan)

| | | |
|-----------------|---|-------|
| 対象(誰を、何を) | 乳幼児及びその保護者 | ※対象件数 |
| 成果(どうする) | 育児に対する正しい知識と技術を体得することで、保護者の子育て不安の解消・軽減が図れる。 | |
| 根拠法令・要綱等 | | |
| 開始年度 | 平成 | 年度 |
| 終了年度 | 平成 | 年度 |
| H22 事業 内容 | ①乳幼児相談 毎月第2火曜日開催。保健師と栄養士、看護師が身体測定、育児相談、栄養相談を行った。 | |
| | ②乳幼児訪問 乳幼児がいる家庭に訪問し、育児や健康に関する指導・相談を行った。 | |
| 社会情勢 の変化等 | | |

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

| | |
|------------------|----|
| 1 建設用地 | |
| 2 建設面積 (延床面積) | |
| 3 規模・構造 | |
| 4 総事業費 | 千円 |

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

| | |
|---------------|----|
| 1 運営主体 | |
| 委託先 | |
| 2 配置人員 | 人 |
| 3 年間運営費 | 千円 |
| 4 市内の 類似施設 | |

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

| 活動 指標 | 指標名 | 単位 | 実績値 | | 目標値 | |
|----------|-----|----|----------|-----|----------------|----------------|
| | | | H21 | H22 | H23 | H24 |
| | | | 乳幼児相談の開催 | 回 | 目標 12 実績 12 | 目標 12 実績 12 |

| 成果 指標 | 指標名 | 指標設定の考え方 | 単位 | 実績値 | | 目標値 | |
|----------|-----|----------|----|------------|----------------|-----|------------------|
| | | | | H21 | H22 | H23 | H24 |
| | | | | 乳幼児相談参加延人数 | 参加延人数を指標としました。 | 人 | 目標 150 実績 104 |

| 投入 コスト | H21 決算 | | H22 決算 | | H23 当初予算 | | H24 当初要求 | |
|----------------|--------|------|--------|------|----------|------|----------|--|
| | (千円) | (千円) | (千円) | (千円) | (千円) | (千円) | (千円) | |
| 直接事業費計(A) | 96 | 59 | 68 | 68 | | | | |
| Aの 財源 内訳 | | | | | | | | |
| 国庫支出金 | | | | | | | | |
| 県支出金 | | | | | | | | |
| 地方債 | | | | | | | | |
| その他 | | | | | | | | |
| 一般財源 | 96 | 59 | 68 | 68 | | | | |
| 事業投入人件費(B) | 0.1人 | 0.1人 | 0.1人 | 0.1人 | 0.1人 | 0.1人 | 0.1人 | |
| フルコスト(A)+(B) | 816 | 779 | 788 | 788 | | | | |

事務事業の評価(Check)

| 判断の基準(該当項目に○をつけてください) | | 備考欄(特記事項) |
|-----------------------|---|---|
| 必要性 | 法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業 | |
| | 個人の方だけでは対応し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業 | |
| | 特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業 | |
| | 事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業 | |
| | 市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業 | |
| 有効性 | 市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業 | |
| | 国や県、民間が同様のサービスを提供している事業 | |
| | 市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業 | ○ |
| | 民間のサービスだけでは地域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業 | |
| | 受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業 | |
| 達成度 | 事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業 | |
| | 【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】 | |
| | 財政状況を考慮し、事業を休止した場合、市民生活への影響が大きい事業 | |
| | 【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】 | |
| | 事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。 | ○ |
| 効率性 | 基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高いサービス水準や対象を見直す余地がある。 | ○ |
| | 当初設定した計画を 100% 実施している。【計画に遅れが生じている場合、改善策】 | |
| | 【予算の繰越がある場合、繰越の種類】 | |
| | 他の事業主体の活用、事業移管が可能である。 | |
| | 基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。【事業名】 | |
| 昨年度の 取組状況 | 受益者負担を求めることができる事業である。 | |
| | 全体コストにおける負担構成は適正である。 | |
| | コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。 | |
| | 改善策 | 出生後4ヶ月までに行っている赤ちゃん訪問の際に、乳幼児相談や市全体で実施している乳幼児育成事業の紹介や参加の勧奨を行っていく。 |
| | 【状況】 | 計画のとおり進んでいる |
| 【詳細】 | 活動指標は目的に達しており、事業は計画通りに進んでいるが、より成果を上げるために、赤ちゃん訪問等の際に事業の紹介や参加を勧奨した。 | |

今後の方向性(Action)

| | |
|-----------------|--|
| 担当課長氏名 | 森本 君枝 |
| 事業の方向性 | 【方向性】 現状維持 |
| 理由 | 子どもを安心して産み、育てることができるよう、ニーズに合った相談や訪問など、事業の充実を図っていく必要がある。 |
| 現時点における課題、その他 | 事業は計画どおりに進んでいるが、より成果をあげる必要がある。 |
| 課題、その他に対する改善策 | 引き続き、出生後4ヶ月までに行っている赤ちゃん訪問の際に、乳幼児相談や市全体で実施している乳幼児育成事業の紹介や参加の勧奨を行っていく。 |
| (いつまでに、何を、どうする) | |